

カラダもココロも健康に

いきいきらしいふ

no.71
2021.SPRING

徳大病院だより

特集

看護師特定行為 研修センターについて

■CLOSE UP

甲状腺の病気の治療いろいろ

■徳大病院ニュース

- ・病院での小さな不便を解消するために
- ・公益財団法人がんの子どもを守る会よりクリスマスプレゼントが届きました
- ・病院災害対策訓練を実施しました
- ・徳島大学病院フォーラム2021春をケーブルテレビで放送します

■病院のお仕事いろいろ

- ・レシピエント移植コーディネーター
- ・DMAT (災害派遣医療チーム) 隊員

■地域連携の部屋

- ・地域連携病院⑥「徳島健生病院」

■食事のヒント

- ・フレイルを予防しよう



徳島大学病院
Tokushima University Hospital

特集 看護師特定行為 研修センターについて

高度な臨床判断力とスキルを習得し、看護と医学の両方の視点を持った新たな看護のプロフェッショナルを育成することを目指す看護師特定行為研修センターについて紹介します。

看護師特定行為研修センターについて

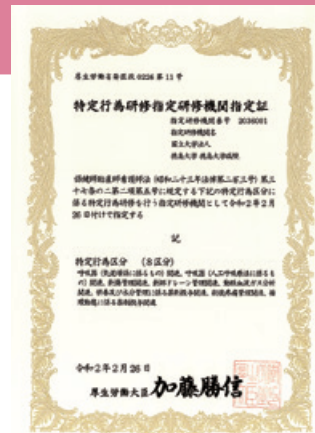
在宅医療、ならびにチーム医療の充実、また、医師の働き方改革を進めるために、研修を修了し、特定行為が可能となった看護師の必要性が高まっています。徳島大学病院は特定行為研修の指定研修機関として厚生労働省より指定を受け、令和2年3月に看護師特定行為研修センターを設置しました。それまでは指定研修機関は

徳島県にはなく、研修を受けるために県外へ行く必要がありましたが、当センターができたことで、県内で研修が受けられるようになりました。

なお、研修を修了し、特定行為が可能となった看護師のことを医療機関によって呼び方は様々ですが、徳島大学病院では「特定看護師」と呼んでいます。



徳島大学病院特定看護師



特定行為研修指定研修機関指定証



徳島大学病院特定看護師バッジ



■説明は
看護師特定行為研修センター
(左)副センター長
中野 あけみ(なかの あけみ)
(右)センター専任看護師
三木 幸代(みき ゆきよ)

■お問い合わせ先
Tel: 088-633-9976
(総務課専門研修係)
URL:
<https://tokushima-hosp-antc.jp/>



特定行為とは

診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる38行為です。

これまで医師により行われていた行為のうち、特定行為については医師によって作成された手順書に基づき、医師の判断を待たずに特定看護師によって行うことができるようになりました。

当センターにおける特定行為研修の受講対象者は、次のとおりです。

- 1 日本国内における看護師免許を有していること。
- 2 看護師免許取得後、通算5年以上の実務経験を有している者
- 3 原則として、所属施設において特定行為の実践・協力が得られ、所属長の推薦書を添付できること。
- 4 今後、特定行為を通じて、医療の発展と社会貢献に寄与する意欲があること。
- 5 徳島大学病院職員または徳島県内の医療機関に勤務している者。

今後について

研修期間は1年間で、特定行為実践に必要な臨床推論や病態判断など、医学的知識をベースとした専門性の高い研修内容となっています。講義はe-Learningを用いており、自分のペースで学習でき、働きながら研修を受けることが可能です。また、演習や実習では、大学病院の専門医や看護師、特定行為研修修了生からの直接指導が受けられます。

徳島県は、全国でも糖尿病患者さんが多いことから血糖管理コースを開講するなど、地域のニーズを考慮した研修を受けることができます。

令和2年度は本院所属の看護師だけでなく、他の医療機関所属の看護師も研修を受講しており、これらの医療機関は協力施設として、協同して人材育成を行っています。円滑に研修を行うためにも協力施設との連携は重要となります。

特定看護師の活躍によって、特定行為や特定看護師の存在意義が一般に広く知られることになると思います。今後、多くの熱意を持った特定看護師を育成し患者さんが受ける医療の質の向上につなげたいと思います。

さらに、研修の運営だけでなく、研修を修了した看護師のためのフォローアップ研修を企画し、実践能力の維持・向上に努めたいと思います。

研修の流れ

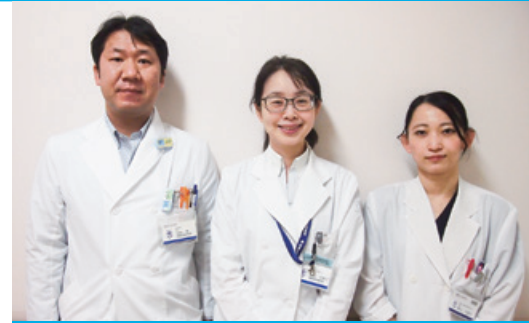


CLOSE UP!



甲状腺の病気の治療いろいろ

当院は、甲状腺内視鏡手術や甲状腺アイソトープ治療が可能な施設です。甲状腺の病気に関する様々な検査や治療に対応できます。



■説明は
徳島大学病院
写真中央：内分泌・代謝内科
吉田 守美子(よしだ すみこ)
右：食道・乳腺甲状腺外科
青山 万理子(あおやま まりこ)
左：放射線治療科
川中 崇(かわなか たかし)

患者さんへ一言

甲状腺の病気は身近な病気で、情報もあふれています。薬、手術、アイソトープ治療と複数の治療方法があり、悩む方もおられるかもしれません。当院では複数の診療科が協力して、患者さんにあった最適な検査や治療方針を提案することができます。

● 身近な甲状腺の病気

甲状腺の病気には、機能性の病気と腫瘍性の病気があります。

機能性の病気とは甲状腺ホルモン分泌の異常のことです。甲状腺ホルモン過剰あるいは不足の代表的な病気として、それぞれバセドウ病と橋本病(慢性甲状腺炎)があります。

甲状腺の腫瘍は、良性と悪性(がん)、さらに腫瘍とよく似た過形成(腫瘍様病変・良性)に分類されます。

● 甲状腺の病気はどの科に行けばよいの?

当院では、甲状腺の病気は、内分泌・代謝内科、甲状腺外科、放射線科が協力して検査や治療にあたって、それぞれどのような検査や治療を行うのかを紹介します。



◎バセドウ病

甲状腺に対する自己抗体が作られ、甲状腺ホルモンが過剰に産生・分泌される病気です。

検査は、血液検査、超音波検査を行います。甲状腺シンチグラフィを行うこともあります。

治療方法は3つです。

① 薬物療法

簡便なため第1選択となります。副作用が出た場合や、早く確実な効果を得たい場合には②や③の方法があります。

② 放射性ヨウ素内用療法(アイソトープ治療)

放射性ヨウ素の入ったカプセル(写真)を内服する治療です。放射線科で行います。

③ 外科治療

手術で甲状腺を摘除します。



アイソトープ治療のカプセル

◎橋本病(慢性甲状腺炎)

甲状腺に対する自己抗体が作られ、甲状腺に慢性的に炎症が生じる病気です。

血液検査と超音波検査で診断します。機能低下症に対して甲状腺ホルモン薬を服用します。

◎甲状腺腫瘍

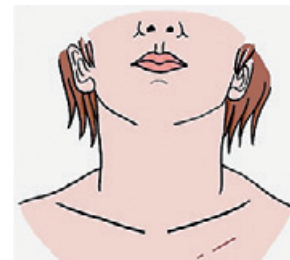
甲状腺の腫瘍は、まず超音波検査を行います。悪性が疑われた場合に、穿刺吸引細胞診を甲状腺外科で行います。悪性腫瘍の場合、約90%が乳頭癌です。

癌では手術が基本です。癌の進行具合によって、甲状腺とリンパ節の切除する範囲を決めます。甲状腺の癌は進行が遅く、性質もおとなしいタイプが多いです。手術によってほとんどの方は治癒します。癌の大きさが1センチ以下の小さい場合には、手術をせずに経過観察を行うこともあります。従来、甲状腺の手術は首の前に横向きに切開する、襟状切開という方法で行ってきました。当院では、症例に応じて内視鏡手術を行っています(図)。服を着た状態で見えにくい場所を切開して手術を行いますので、整容性に優れます。

甲状腺癌に対してアイソトープ治療を追加する場合があります(放射線科)。



<襟状切開>



<甲状腺内視鏡手術>

病院での小さな不便を解消するために

徳島大学病院のひとつの役割として先端的医療の開発があり、臨床研究や治験の実施を支援・推進する部署として総合臨床研究センターを設けています。総合臨床研究センターでは、様々な取り組みの一環として以下を始めましたので、ご紹介したいと思います。

臨床現場では患者さんの治療を進めるには支障はなくても、ちょっとした「不便な事」がたくさんあります。そこでその「不便な事」を解決するために、徳島大学研究支援・産官学連携センターと協力して解決するための取り組みをおこなっています。医療現場の声から「医療現場ではこんな事があり困っている」や「あったら便利なのに」と思っている具体的な事を収集し、その問題を解決できる物や仕組みを一緒に作り始めています。その「困っている事を解決できる物」が完成すれば、患者さんが受診しやすい環境を作る手助けとなると信じて、日々活動しております。

まだまだ始めたばかりの取り組みですので患者さんに役立てていただけるような具体的な製品の完成には至っておりませんが、少しずつ形になってきておりますので成果報告できる日も遠くないかもしれません。

公益財団法人がんの子どもを守る会よりクリスマスプレゼントが届きました

小児がん患者・家族へ支援を行っている公益財団法人がんの子どもを守る会より本院の小児がんの子どもたちへクリスマスプレゼントが届き、12月25日に子どもたちへサンタクロースの衣装を着た小児科のスタッフよりプレゼントが渡されました。プレゼントを受け取った子どもたちはとても喜んでいました。



病院災害対策訓練を実施しました

1月14日(木)に、令和2年度病院災害対策訓練を実施しました。夜間に発生した大規模災害を想定し、少ない人員での災害対策本部立ち上げ、情報伝達、職員参集等の訓練を行い、初動対応時における災害時医療体制を検証しました。感染防止対策に留意(限定した部署からの情報伝達や参集時間の分散等)しながら、約100名の職員が参加し、初動時にいかに迅速に情報を集約し、災害医療体制を整えることの重要性を改めて認識しました。



(災害対策本部にて、集約された情報を確認している様子)

徳島大学病院 フォーラム2021春を ケーブルテレビで放送します

令和3年4月20日よりケーブルテレビ徳島、4月21日よりけーぶる12において、市民公開講座「徳島大学病院フォーラム2021春」を放送します。

テーマは第1部が「アレルギー疾患～診断・治療の最前線～」、第2部が「がん～小児・AYA世代のがんについて～」です。是非ご覧ください。

放送日	時間	内容	チャンネル
4月20日(火)	13:00~15:00	第1部「アレルギー疾患」	111ch (11ボタン) ケーブルテレビ徳島
4月27日(火)	13:00~15:00	第2部「小児・AYA世代のがん」	
4月22日(木)	13:00~15:00	第1部「アレルギー疾患」	
4月29日(木)	13:00~15:00	第2部「小児・AYA世代のがん」	
4月24日(土)	19:00~21:00	第1部「アレルギー疾患」	
5月 1日(土)	19:00~21:00	第2部「小児・AYA世代のがん」	121ch (12ボタン) 12けーぶる チャンネル
4月25日(日)	12:00~14:00	第1部「アレルギー疾患」	
5月 2日(日)	12:00~14:00	第2部「小児・AYA世代のがん」	
4月21日(水)	11:00~13:00	第1部「アレルギー疾患」	
4月21日(水)	20:00~22:00	第1部「アレルギー疾患」	
4月24日(土)	15:00~17:00	第1部「アレルギー疾患」	
4月28日(水)	11:00~13:00	第2部「小児・AYA世代のがん」	
4月28日(水)	20:00~22:00	第2部「小児・AYA世代のがん」	
5月 1日(土)	15:00~17:00	第2部「小児・AYA世代のがん」	

入院日用品レンタルサービス「CSセット」専門企業



『CSセット』とは?

入院時に必要となる日用品やおむつ、タオル類、衣類等を洗濯付きでレンタルできるサービスです。

DELAN
株式会社エラン

東証一部上場(証券コード:6099)

お問い合わせはこちら

TEL 0263-29-2680 (9:00~17:00)

Mail request@kkelan.com

いつの時代にも
「道を表し示す灯になりたい」
灯を目指し続ける企業。
私たちは表示灯です。

表示灯株式会社
四国支店

● 地図広告 ● サイン
● 一般広告 ● デジタルサイネージ
● WEBサービス ● インバウンドサービス



病院のお仕事いろいろ

“移植”治療を 選択肢のひとつに



レシピエント
移植コーディネーター
看護部西病棟8階
副看護師長

多田 亜沙香
(ただ あさか)

腎移植は、腎臓を提供する方(ドナー)と腎臓をもらう方(レシピエント)の間で行われる医療で、献腎移植(亡くなられた方から腎臓をいただく)と生体移植(親族から腎臓をいただく)の2つがあります。ドナーとレシピエントの治療がスムーズに進むよう支援するのが、レシピエント移植コーディネーターのお仕事です。具体的には、検査の手続きを始め、移植の説明、精神的なサポート、移植後の指導を行っており、一生に渡って患者さんと関わっていきます。また、多くのスタッフと連携をとりながら、すべての過程をチーム医療で支えています。

血液透析の場合、定期的な透析施行のため拘束時間がどうしても増えますが、移植をすることで、日常生活や食事の制限が緩和されます。

いただいた腎臓が別の人の身体で元気に生き続ける、透析から解放されて普段通りの生活に戻る、そんな腎移植に魅力を感じ、平成23年度より開始された認定制度をきっかけに、レシピエント移植コーディネーターの資格を

取得しました。

臓器提供後も患者さんが元気に生活を送れるようになることを念頭に置き、どんな看護、支援をしていけばよいか考えながら携わっています。また、外来初診時から入院中、退院後と長期的に患者さんと関わることができるため、対話を重ねながらひとりひとりに合った指導ができるよう心掛けています。

お互いが支え合い臓器提供を決心するため、親族の温かな関係に触れることができたり、ひとりひとりの患者さんと一貫して関わり続けることで、患者さんに安心してもらえたりすると、やりがいを感じます。

手術や他人の臓器をもらうことに抵抗を感じる人も多いと思いますが、良い面があることを多くの人に知ってもらいたいです。日本では腎代替療法に占める透析の比率がまだまだ多いのが現状ですが、透析だけでなく、移植も治療の選択肢のひとつになってほしいと語ってくださいました。

治療を実施しています

現在、開発中の医薬品の候補(治験薬)あるいは医療機器を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品や医療機器としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思いますので、**お気軽にお問い合わせください。**

- 尿路上皮癌
- 腎細胞癌
- 筋層浸潤性膀胱癌
- 転移性去勢抵抗性前立腺癌
- 肝細胞癌
- 肝硬変
- 多発性骨髄腫
- 慢性動脈閉塞症
- 潰瘍性大腸炎
- クローン病
- 肝硬変
- 心臓リハビリテーションの適応となる心疾患
- 滲出型加齢黄斑変性
- 糖尿病黄斑浮腫
- 小児2型糖尿病



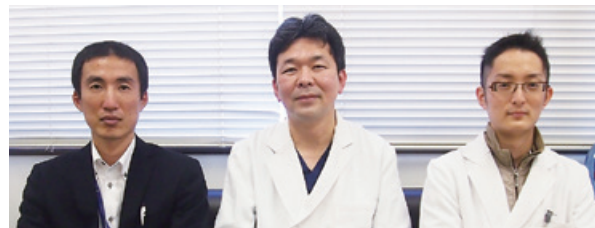
ちけん君は
日本医師会治験促進センターの
キャラクターです。

問合せ：総合臨床研究センター
tel.088-633-9294

ご協力
お願いします。

病院のお仕事いろいろ

被災地へ駆けつけ医療支援を行うDMAT



写真左：災害対策事務
担当 総務課 主任
川辺 健司
(かわべ けんじ)

中央：DMAT隊長
救急集中治療部 部長
大藤 純
(おとう じゅん)

右：DMAT隊員
循環器内科 医師
高橋 智紀
(たかはし ともり)

DMAT(Disaster Medical Assistance Team 災害派遣医療チーム)は災害時の急性期に被災地に駆けつけ活動する医療チームのことで、医師、看護師、業務調整員(薬剤師、臨床工学技士などの医療従事者)で構成されています。被災地の病院の一員となり医療支援をしたり、広域搬送という重症患者を被災地域の外に移動させ医療支援をしたりします。どこからどこに何人の患者を運ぶかなどを仕分け、調整することもあります。

高橋医師は令和2年の熊本豪雨災害でDMAT隊員として

熊本県で活動しました。現地では、DMATが行政や自衛隊と協力して孤立集落の調査を行い、被災者の方の避難に向けて調整を行っていました。その中で設営された救護所で傷病者の診察や処方を行いました。

被災地には国内各地からDMATが集まり活動します。1人の力は小さくても、隊員それぞれが自分の役割を果たすことが、DMAT全体の大きな力になり、災害医療が回っていると思うとやりがいを感じます。

被災地への移動時間は長い場合が多く、どのような状況なのか現場に行くまで分からないので不安や緊張状態も続きます。隊員を送り出す側としても、県から要請があればすぐに隊員を派遣する必要があるため、短時間で派遣可能な隊員を集め、段取りをして準備を進めなければなりません。

被災地では被災者の方のプライバシーや心情を傷つけないように、そして、徳島大学病院のDMATとして恥ずかしくないよう行動することを心がけています。

本院のDMAT隊員を増やすことや、徳島が被災したときに全国から派遣されたDMATを効果的に機能させられる仕組みを整えておくなどして、本院のDMATの体制をさらに充実させたいと話してくれました。



「トクシンに載っとるでよ！」
地域のニュースが人々を結びます

郷土と共に歩む
徳島新聞社

ご購入のお申し込みは ☎0120-46-1940
www.topics.or.jp



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.40

地域連携病院③「徳島健生病院」

今回は、徳島市下助任町にある徳島健生病院をご紹介します。

■患者さんと距離が近い病院を目指して

「患者さんとともに安全・安心で信頼される医療を実践します」という理念のもと、患者さんと距離が近い病院であるように、例えば病気の話だけでなく、日常生活のことや困っていることなども言いやすい雰囲気でお話から様々な話を診療に活かせるように心がけています。また、徳島健生病院には一般急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養型病棟の4種類の病棟があり比較的幅広く患者さんを受け入れています。

回復期の治療に力を入れていることもあり、徳島大学病院からは脳血管障害等で急性期の治療を終えられ、回復期でリハビリが必要な患者さんを紹介されるなどしています。

外来においても様々な専門外来を開いており、その中でも特徴的なものとしては、骨粗鬆症外来と便秘外来があります。

骨粗鬆症外来は、骨が弱くなっている状態を改善し、骨折をさせないというコンセプトで、骨密度の測定や評価から始まり、様々な種類の治療法がある中でその方に最適な方法を選び、治療を行っています。

便秘外来は、日頃の便秘の悩みを解決するように、また、便秘の症状と患っていたら大腸がんや直腸がんだったという場合もあるので、大腸がんや直腸がんを発見する視点も持ちつつ便秘の方

に外科医が対応しています。

■新病院が開院して

令和2年12月に新病院が開院しました。建物が新しくなったことで病室が広くなり、より快適に療養いただけるようになりました。発熱外来患者専用の待合室も新設し、一般の方と完全に動線を分けて発熱外来の患者さんの対応ができるようになりました。また、CT、MRI、マンモグラフィの機器が新しくなり、より鮮明な画像を撮影できるようになるとともに、従来機に比べ大幅に被ばく線量を抑えて撮影でき、より患者さんに優しい検査ができるようになりました。

病院が新しくなり、この地で求められる医療をこれからも提供するためにも、若いスタッフを増やし、育てていきたいと思っています。そしてより多くの地域の方や組合員の方に利用いただきたいと思っています。



新しくなった徳島健生病院

「地域医療連携」について

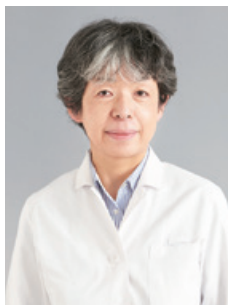
徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

徳島健生病院
徳島県徳島市下助任町
4丁目9
TEL.088-622-7771

■説明は

佐々木 清美(ささき きよみ)
院長



食事のヒント

テーマ フレイルを予防しよう

外出が減り歩く機会が減ると、「フレイル」として年齢に伴う筋力や心身の活力の低下が進みやすくなります。フレイル予防には、運動と共に筋肉の素であるたんぱく質などの栄養素をバランスよく摂る食事が必要です。

回答は
栄養部 鈴木 佳子
(すずき よしこ)



料理にひと工夫することで、よりバランスの良い食事になります。

- ①主食** ご飯200g
雑穀米や強化米などを加えると、ビタミンやミネラルが手軽に増やせます。
- ②主菜** 鶏肉のナッツ炒め
材料…鶏肉60g、エリンギ、銀杏、カシューナッツ、ピーマン、人参、生姜、サラダ油 調味料：砂糖小さじ2、酒小さじ1、醤油大さじ1/2、水とき片栗粉
生姜やにんにくなどを加えると味のアクセントになります。肉が苦手な場合は、卵などのたんぱく質源を加えましょう。
- ③副菜①** 白菜とトマトのサラダ、ノンオイルドレッシング
市販の惣菜や千切りキャベツなども便利です。ちりめんじゃこや桜エビなどを加えるとより栄養価も高くなります。
- ④副菜②** いらとしめじの中華スープ
卵や豆腐などのたんぱく質源や海藻やきのこ、野菜をしっかりと加えると、1品でもバランスの良い料理になります。



【栄養量】エネルギー 700kcal、たんぱく質 25g、脂質 20g、食塩 2.8g

ちょっと一言

フレイル予防には、有酸素運動の歩行、筋肉トレーニングのストレッチ、転倒予防のためのバランス訓練などの組み合わせがおすすめ。運動習慣のない方は、様々な運動の要素を兼ね備えたラジオ体操から始めてみましょう。

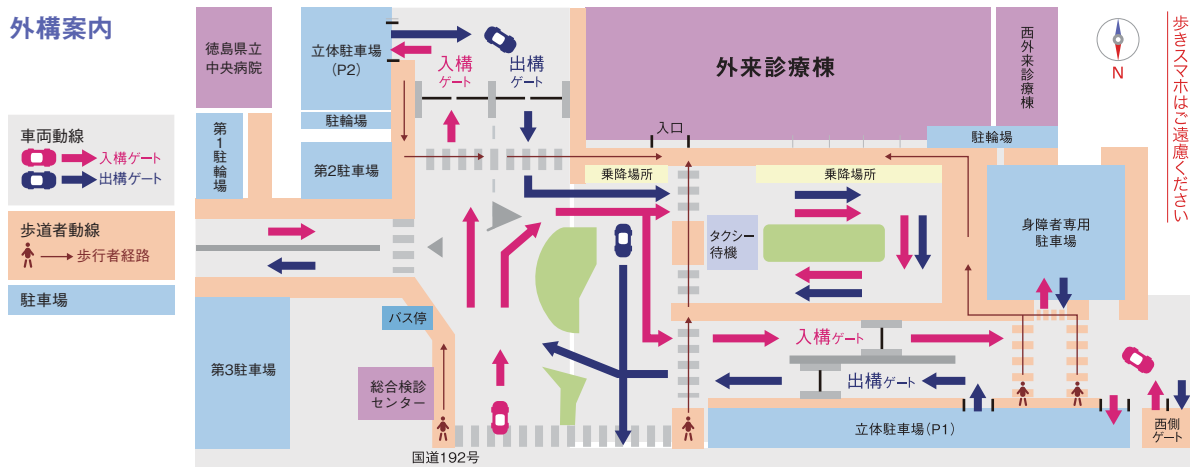
西
病
棟

11階
特別
個室

特別個室に入室をご希望の方は担当医にご相談ください。

春の桜。
夏の深緑。
秋の紅葉。
山眠る冬。
眉山の
絶景を臨む
特別な空間。

外構案内



各相談室・検査の連絡先

- 緩和ケアセンター
(相談受付/月～金曜13:00～15:00) Tel/088-633-7457(Fax兼用)
- PET/CT検査(受付/月～金曜8:30～17:00)
Tel/088-633-9106 Fax/0120-335-812
- セカンドオピニオン外来(予約受付/月～金曜13:00～16:00)
Tel/088-633-9654 Fax/0120-335-979 ※完全予約制
- 遺伝カウンセリング外来(予約受付/月～金曜13:00～16:00)
Tel/088-633-9218 Fax/088-633-9219 ※完全予約制
- 総合臨床研究センター(受付/月～金曜9:00～17:00)
Tel/088-633-9294 Fax/088-633-9295
- アンチエイジング医療センター(予約受付/月～金曜9:00～16:00)
Tel/088-633-9106 Fax/0120-335-979 ※完全予約制
- 美容センター(予約受付/月～金曜14:00～16:00)
Tel/088-633-7047(初診) 088-633-7903(再診施術・案内) ※完全予約制
- 患者支援センター【医療相談窓口】(相談受付/月～金曜8:30～17:00)
Tel/088-633-9107・088-633-9056 Fax/088-633-9107

徳島大学病院へのご寄付

本院では、一層充実した医療を提供するために、寄付金というかたちで皆様のご厚志を生かしていきたいと考えています。皆様のご支援は、①患者さんへの最良の医療提供②医療に関する調査や研究③医療に関する技術者の研修のために充てさせていただきます。ご寄付をいただき心から感謝いたします。

- 寄付者のご芳名 ご同意いただいた方に限り、ここにご芳名を掲載させていただきます。

※2020/11/1～2021/1/31時点(順不同)

西川 政善様 品川 恵美子様 楠本 正志様
福井 七五三夫様

- お申し込み状況 総件数：33件 総額：8,849,000円
※2020/4/1～2021/1/31時点

- お申し込み方法 徳島大学病院のホームページでご覧いただけます。来院中のお申し込みは、経理調達課経理・管理係または、お近くの当院スタッフまでお申し出ください。

- お問い合わせ 経理調達課経理・管理係
(月～金8:30～17:00) Tel/088-633-7016

 徳島大学病院
Tokushima University Hospital

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1

<https://www.tokushima-hosp.jp/>

■ご意見・ご要望は右記までお寄せ下さい。bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp

発行者 病院長 香美 祥二
編集部会長 楊河 宏章
広報委員会 北畑 洋 金山 博臣 武田 憲昭 生田 貴久
委員 藤井 志朗 久保 亜貴子 大川 敏永 桐野 靖
岡本 知美 金澤 昭代
泉 朗 兒玉 美和 小賀野 剛 西村 伸次
津川 直樹 若田 好史
事務担当 総務課広報・企画係 Tel.088-633-7697